

3年連続の無事故無違反

県警表彰 千種高生が励行



西藤調査官（左）から表彰状を受け取る滝本さん（中央）と赤染さん（県立千種高で）

高校生が5か月にわたって自転車の安全運行を励行し、無事故無違反を達成したとして県警は22日、県立千種高（栄栗市）に本部長賞を贈った。同高は今回を含めて3年連続の無事故無違反。県警は「極めて優秀」と生徒たちの頑張りをたたえた。

自転車に関係する県内の事故で15〜18歳が占める割合が多いため、県警が実施している「高校生自転車交通事故防止アクションプログラム」の一環。昨年8月から12月末まで、通学などで事故や違反を起こさないことを目指し、県内の87校が参加した。

今回は16校が無事故無違反を達成。「自転車交通安全全テスト」の成績が優れていた4校が本部長賞に選出された。この日は、県警交通企画課の西藤勉・調査官らが同高を訪問。自転車で通学している1年の滝本健介さんと赤染悠斗さんに表彰状を手渡した。

道路交通法によって4月以降は、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務になる。滝本さんは「乗る時はスマートフォンなどで音楽を聴かないように心がけている」と話し、赤染さんも「これからも周囲をしっかり見て乗りたい」と決意を新たにしていた。